



制定日 2003/08/01

改訂日 2020/07/7

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製品名	クリントール SA
製品の種類	粘着ゴムロール用クリーニング溶剤(クリーンダッシュロール専用)
会社名	テクノロール株式会社
所在地	〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3-4-5
担当部門	技術本部 化学部門
電話番号	0725 (53) 3933
FAX 番号	0725 (53) 3922
E-Mail	tech@technoroll.co.jp
管理No.	No. MD-CTSA07

2. 危険有害性の要約

<GHS分類>

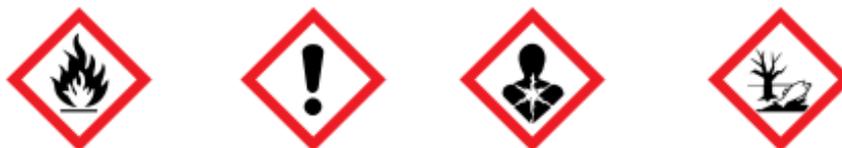
物理化学的性質	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2 A
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分2 (血管系)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(慢性)	区分1

*記載のないものは「区分外」、「分類対象外」、又は「分類できない」

<国/地域情報> なし

<GHSラベル要素>

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 引火性の高い液体および蒸気 (H225)
 飲み込むと有害 (H302)
 皮膚刺激 (H315)
 強い眼刺激 (H319)
 呼吸器への刺激のおそれ (H335)
 眠気又はめまいのおそれ (H336)
 臓器(血管系)の障害のおそれ (H371)
 水生生物に非常に強い毒性 (400)
 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性 (H410)

<注意書き>

安全対策 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。 (P210)
 容器を密閉しておくこと。 (P233)
 容器を接地すること。/アースをとること。 (P240)
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 (P241)

- 火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)
- 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。(P260)
- 取り扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
- 環境への放出を避けること。(P273)
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置

- 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。(P301+P312)
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。(P302+P352)
- 皮膚(又は髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類すべて脱ぐこと/取り除くこと/皮膚を流水/シャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- 刺激が生じた場合 : 医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には、外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- 曝露又は曝露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。(P308+P311)
- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
- 特別な処置が必要である。(このラベルの応急措置を見よ) (P321)
- 口をすすぐこと。(P330)
- 皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。(P332+P313)
- 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。(P337+P313)
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)
- 火災の場合 : 粉末消火器、炭酸ガスを用いて消火すること。(P370+P378)
- 漏出物を回収すること。(P391)

保管方法

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
- 施錠して保管すること。(P405)

廃棄方法

- 容器/内容物を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名/成分	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	含有率
脂環式炭化水素系溶剤	-	-	-	75-90%
炭化水素系溶剤	-	-	-	10-25%
安定剤	-	-	-	1%未満

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

- 最も重要な急性と発症の遅い症状影響
 応急処置をする者の保護
- : めまい、し眠状態。皮膚の乾燥。発赤。吐き気。
 - : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO₂)、泡、粉末消火剤、砂
- 使ってはならない消火剤 : 利用可能な情報はない
- 特有の消火方法 : 利用可能な情報はない
- 火災時の特有危険有害性 : 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
- 消火を行う者の保護 : 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。水上に流出した製品は、吸収材を浸して吸収する。
- 回収、中和 : 利用可能な情報はない
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 技術的対策 : 火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。
 - 注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 安全取扱注意事項 : 静電気放電(有機物の蒸気を引火させうる)を避けるために必要な措置をとる。
- 保管
 - 安全な保管条件
 - 保管条件 : 直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
 - 安全な容器包装材料 : ガラス
 - 混触禁止物質 : 強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度
 - 日本産業衛生学会 : 400 ppm (1600mg/m³、メチルシクロヘキサン)
 - (2015) : 150 ppm (520mg/m³、シクロヘキサン)
 - : 200 ppm (800mg/m³、ヘプタン)
 - ACGIH(2006) : TLV-TWA 400 ppm (メチルシクロヘキサン)
- 設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する
- 保護具
 - 呼吸器用保護具 : 有機ガス用防毒マスク
 - 手の保護具 : 不浸透性保護手袋

- 眼の保護具 : 側面遮断する保護眼鏡(もしくはゴーグル)を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣, 保護長靴
- 適切な衛生対策 : 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 無色透明
- 臭い : 特有臭
- 沸点 : 98.6℃
- 蒸気圧 : 51mmHg(25℃)
- 比重 : 0.763(15℃)
- 溶解度 : アセトン; 易溶、水; 不溶、
- 引火点 : -5.5℃
- 発火点 : 約295℃
- 爆発限界 : 下限1.1%、上限6.9%
- 可燃性 : 引火しやすい
- 発火性 : なし(自然発火性、水との反応性)
- 酸化性 : なし
- 自己反応性 : なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 推奨保管条件下で安定。
- 反応性 : データなし
- 危険有害反応可能性 : 通常の処理ではなし。
- 避けるべき条件 : 高温と直射日光, 熱, 炎, 火花
- 混触危険物質 : 強酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素(CO), 二酸化炭素(CO₂)

11. 有害性情報

混合物の有害性情報はなし。

12. 環境影響情報

混合物の環境影響情報はなし。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上、処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制
 - 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。
 - 航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。
 - 国連番号 : 1993
 - 品名 : その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)
 - 等級 : クラス3
 - 容器等級 : II
 - 注意事項 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
- 国内規制
 - 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に定められている運送方法に従う。
 - 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

- 航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。
 注意事項 : 容器漏れのないことを確かめ、店頭、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法令

施行令別表第1第4号 : 危険物・引火性のもの)

法第57条の2、施行令第18条の2別表第9

通知対象物質 : シクロヘキサン(政令番号232)、n-ヘプタン(政令番号526)、メチルシクロヘキサン(政令番号576)

表示対象物質 : シクロヘキサン(政令番号232)、n-ヘプタン(政令番号526)、メチルシクロヘキサン(政令番号576)

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

消防法 : 第4類引火性液体 第一石油類 非水溶性液体(危険等級II) 数量:200L

毒物及び劇物取締法 : 非該当

化学物質管理促進法 : 非該当

(PRTR法)

船舶安全法 : 危規則第3条危険等級II 引火性液体類

航空法 : 施行規則第194条 引火性液体

16. その他の情報

荷姿 : 1L 金属丸缶、4L 金属角缶、20L 金属丸缶容器入り

注釈 : 本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。

また、注意事項は通常の実取り扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

本製品のもつ特性に関しての、品質保証を意味するものではありません。